

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2023年1月5日～2024年2月15日の期間に当院にて乳がんと診断され、放射線治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	フィルム線量分布検証におけるパラメータ設定が結果に及ぼす影響と許容値に関する研究			
③ 実施予定期間	2024年5月～2024年10月			
④ 実施機関	国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	谷本 祐樹	所属	中央放射線センター
⑥ 当院の研究責任者	氏名	谷本 祐樹	所属	呉医療センター 中央放射線センター
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 放射線治療照射線量分布, CT 画像, 年齢, 性別 ※上記診療情報は、研究結果の公表後1年間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。			
⑧ 目的	高精度放射線治療において、フィルムを用いた線量分布検証は、解析時の ROI サイズや線量 Scale の設定、フィルムの照射位置、また解析者によるパラメータ設定値が変動し、検証結果に影響を及ぼす。しかし、我々の知りうる限りそれらの影響の大きさについて明らかになっていない。本研究では、上記の因子による影響の大きさと、パラメータの設定許容値について明らかにすることを目的とする。			
⑨ 方法	<p>照射プランは、PTV サイズが大きい乳房と小さい脳局所、脳定位の計 15 例を使用する。解析は、γ解析を使用し ROI 内の γ pass 率を算出し比較する。変化させたパラメータ:①ROI サイズは、上下はファントムの端、左右はフィルムの端から 1 cm ずつ 5 cm まで変化させる。②線量 Scale は 1% ずつ $\pm 15\%$ まで増減させる。③フィルムを 4 分割し、同一プランをそれぞれに照射しフィルム位置による影響を評価する。また、診療放射線技師 10 名により同一プランに対し γ 解析を行い、設定したパラメータによる解析結果の違いを比較する。①,②のそれぞれの最も良好な結果から 5% 以内の値が得られる設定値を許容値とする。</p> <p>・ROI サイズ, 線量 Scale: 線量分布検証の際、調整されるパラメータ ・PTV (Planning Target Volume): CT 上視覚的に確認できる腫瘍を GTV (Gross Target Volume から浸潤や、生理的な腫瘍の動きを考慮した放射線を照射するターゲット ・ファントム: 放射線量を計測するための模型</p>			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年5月2日		
	院長承認日	2024年5月2日		
⑪ 公表	個人情報保護のうえ、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	内線 7030	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 中央放射線センター			

呉医療センター院長